















# 「還暦からできること」模索の旅

避妊教育ネットワーク

リレートーク (59)



船津氏



クリニックの外観 (上) と待合室 (下)



クリニックでの診療は設備やマンパワーの関係上、であります。しかしクリニックでは気付かないこともあります。しかしクリニックでしかできない治療も存在します。それは病院勤務では気付かないことがあります。それは病院勤務に当たり自指したものは、月経関連症状や更年期症状を抱えつゝ、敷居が高い故に婦人科受診をためらうとする女性がいるのです。

妻は薬剤師で、院内調剤を行っています。

前号では、昨年11月に愛媛県で開催した「家族計画研究集会」の講演内容を詳しく掲載しました。その中から、北村邦夫本会理事長の「月経との正しい付き合い方」の

生と死を扱う産婦人科にしばしば「何で産婦人科医になられたのですか?」と質問を受けます。医師が診療科を決定するにはいろいろなケイスがあります。自分の場合は臨床実習中に、治療にメリハリのある外科系に行きたいと思うも「外科のハードさ」に腰が引け、唯一「生と死」を扱う産婦人科に心魅かれました。またこの医局にも「この人の後輩にだけ

はなりたくない!」と思ふ先輩医師がいるものですが、たまたま当時の母校産婦人科医局にはそういった先生が見当たらず、それが入局の決心に拍車掛けたのです。

病院勤務時代はバランスのよい医師になりたいと願い、病院の責務を意識し恥ずかしくない診療を心掛けていたような気をがします。麻酔科や新生児科研修も受け、科長の役も担いました。退局後は4年間の産科医院の雇用もありました。

女性のホームドクターを目指す

クリニックでの診療は設備やマンパワーの関係上、であります。しかしクリニックでは気付かないことがあります。それは病院勤務では気付かないことがあります。それは病院勤務に当たり自指したものは、月経関連症状や更年期症状を抱えつゝ、敷居が高い故に婦人科受

診をためらっていた女性たちに来院していただけたのです。そこで使命感に燃えた自治医の大手医師との出会いに刺激を受けたものです。

これまで使い方を熟知していなかつた経口避妊薬(OCP)の効用を実感しました。リスクを考え超音波での乳がん検診を始めました。「女性外来」が根付き始め、女性器の疾患を扱う専門医ではありません。しかしクリニックでしかできない治療も存在します。それは病院勤務では気付かないことがあります。それは病院勤務に当たり自指したものは、月経関連症状や更年期症状を抱えつゝ、敷居が高い故に婦人科受

診をためらっていた女性たちに来院していただけたのです。そこで使命感に燃えた自治医の大手医師との出会いに刺激を受けたものです。

これまで使い方を熟知していなかつた経口避妊薬(OCP)の効用を実感しました。リスクを考え超音波での乳がん検診を始めました。「女性外来」が根付き始め、女性器の疾患を扱う専門医ではありません。しかしクリニックでしかできない治療も存在します。それは病院勤務では気付かないことがあります。それは病院勤務に当たり自指したものは、月経関連症状や更年期症状を抱えつゝ、敷居が高い故に婦人科受

診をためらっていた女性たちに来院していただけたのです。そこで使命感に燃えた自治医の大手医師との出会いに刺激を受けたものです。

これまで使い方を熟知していなかつた経口避妊薬(OCP)の効用を実感しました。リスクを考え超音波での乳がん検診を始めました。「女性外来」が根付き始め、女性器の疾患を扱う専門医ではありません。しかしクリニックでしかできない治療も存在します。それは病院勤務では気付かないことがあります。それは病院勤務に当たり自指したものは、月経関連症状や更年期症状を抱えつゝ、敷居が高い故に婦人科受

診をためらっていた女性たちに来院していただけたのです。そこで使命感に燃えた自治医の大手医師との出会いに刺激を受けたものです。

これまで使い方を熟知していなかつた経口避妊薬(OCP)の効用を実感しました。リスクを考え超音波での乳がん検診を始めました。「女性外来」が根付き始め、女性器の疾患を扱う専門医ではありません。しかしクリニックでしかできない治療も存在します。それは病院勤務では気付かないことがあります。それは病院勤務に当たり自指したものは、月経関連症状や更年期症状を抱えつゝ、敷居が高い故に婦人科受

診をためらっていた女性たちに来院していただけたのです。そこで使命感に燃えた自治医の大手医師との出会いに刺激を受けたものです。

これまで使い方を熟知していなかつた経口避妊薬(OCP)の効用を実感しました。リスクを考え超音波での乳がん検診を始めました。「女性外来」が根付き始め、女性器の疾患を扱う専門医ではありません。しかしクリニックでしかできない治療も存在します。それは病院勤務では気付かないことがあります。それは病院勤務に当たり自指したものは、月経関連症状や更年期症状を抱えつゝ、敷居が高い故に婦人科受

## 3月の母子保健指導員研修会

【テーマ】「乳幼児の発達姿勢・運動発達等」

【講師】秋山千枝子 (アル (東京都新宿区) きやま子どもクリニック院長)

【日時】3月10日(火)10時~12時研修 ※時間が通じる保育師、助産師、看護師などの有資格者

【参加費】当日参加300円 FAX 03(3267)2658

00円 (会員以外で当日参加希望の方は必ず事前に電話またはFAXでお問い合わせください)

【会場】本会多目的ホール (東京都新宿区)

※年間予定は本会HPをご覧ください。

前号では、昨年11月に愛媛県で開催した「家族計画研究集会」の講演内容を詳しく掲載しました。

【テーマ】「乳幼児の発

達姿勢・運動発達等」

【講師】秋山千枝子 (アル (東京都新宿区) きやま子どもクリニック院長)

【日時】3月10日(火)10時~12時研修 ※時間が通じる保育師、助産師、看護師などの有資格者

【参加費】当日参加300円 FAX 03(3267)2658

月経痛がある人は、とても多い。そのうち、ピルの正しい知識を持つ人は

が、結果的に自分の快適な生活につながる。保健

指導や健康教育で正しい知識を持つ人は

が、「月経を負担や憂鬱に感じる人も少なくないと思うが、(講演で話された)『卵巣に優しい環境をつくる』ということ

が、結果的に自分の快適な生活につながる。保健

指導や健康教育で正しい知識を持つ人は

が、「月経を負担や憂鬱に感じる人も少なくないと思うが、(講演で話された)『卵巣に優しい環境をつくる』ということ

が、結果的に自分の快適な生活につながる。保健

指導や健康教育で正しい知識を持つ人は

が、「月経を負担や憂鬱に感じる人も少なくないと思うが、(講演で話された)『卵巣に優しい環境をつくる』こと

が、結果的に自分の快適な生活につながる。保健